

80年前-立川は戦場だった

2025年3月22日(土)

集合 モノレール高松駅改札口 午前10時

解散 モノレール・西武線玉川上水駅付近 午後3時ごろ

もちもの:飲み物/歩きやすい靴と服装で 昼食は玉川上水駅周辺で店に入ります。

全行程:約5km 小雨決行 定員:20人 要予約(2月18日13時より受付開始)

参加費:1000円(シビル会員は800円) 昼食代・交通費は各自ご負担ください。

案内人:榎崎茂彌さん(元高校教員・旧日立航空機戦災変電所説明員)

今年は、敗戦から80年にあたります。軍都立川は、1945年2月16日から敗戦までに13回の空襲を受けたとされています。

今回は1945年4月24日に合計112機のB29が立川地域を爆撃し、142人の命を奪った空襲のあとを訪ねます。まず、立川陸軍飛行場と立川飛行機立川工場・立川飛行機砂川工場に接する場所に当たるモノレール高松駅に集合します。その場所にあつて爆撃で破壊され、東に移転した熊野神社を訪ね、爆撃の痕跡を探します。さらに、爆撃により破壊された砂川国民学校の痕跡を探り、爆弾によって壊された玉川上水の堤を見学します。

玉川上水駅周辺で昼食をとったあと、爆撃の主目標だった日立航空機立川発動機製作所の変電所に入り、砂川空襲と日立航空機空襲の体験者の証言ビデオを観ます。この変電所は、3回の空襲の痕跡がそのまま残されている極めて貴重な戦争遺跡です。正面の銃撃痕は4月19日の米陸軍航空軍戦闘機P51の機銃掃射によるものですが、この銃撃で3才の男の子が命を奪われています。当時の史料により、攻撃の狙いや被害の実態を明らかにします。

空襲の痕跡と体験者の証言、当時の史料によって、80年前の戦争・空襲を迫体験してもらえればと思います。



お問い合わせ/お申し込みは
一般社団法人(非営利型)
市民の学習・活動・交流センターシビル
042-524-9014 (担当 こうの)
立川市柴崎町3-10-4
civiltachikawa@yahoo.co.jp
当日の連絡先は090-8463-3742 こうの

シビル歴史散歩

80年前-立川は戦場だった (2025.3.22)

氏名

住所

連絡先

(会員・一般)

領収証

様

¥

歴史散歩 「80年前-立川は戦場
だった」(25.3.22)参加費として

月 日 扱い